

キリスト教での体験 フィンドレー大学奨学生レポート（11月）

NBO（ニッシン・ブレーキ・オハイオ社）

インターンシップでは、具体的な機械の仕様を固めました。機械の発注・組み立ては、これから行う予定です。また、この装置によってどの程度利益が生まれるのか算出し、計画しているやり方は可能なのかを一つ一つ確かめていきました。私達が計画した装置が実際に形になっていくことに喜びを覚えると同時に、会社から資金を受け行っていることに身が引き締まる思いです。

アイスホッケー

サンクスギビングでは、友達の家ホームステイさせてもらいました。その際に、アイスホッケーの試合に連れて行ってもらえました。選手のぶつかり合いは想像以上に迫力があり、特に壁にぶつかる時の音はスタジアム全体に響き渡るほどでした。観戦している人も地元のチームが闘っているせいか非常に興奮しており、地元側が逆転したときは盛り上がりも最高潮に達し、観客全員がスタンディングオベーションをしました。その劇的な勝利に、私は観終えたあとも興奮がおさまらないほどでした。



試合の終盤

アメリカの家庭

アメリカの文化を体験するという授業の一環で、私はフィンドレー市内にあ

るベリー氏の家を訪れました。ベリー氏の温かく気さくな出迎えに、直ぐに打ち解けることができ、アメリカのフレンドリーさの良さを感じます。そこで B.L.T. サンドウィッチを頂いたり、互いの文化について話したりしました。私が TV のメーカー名を言うと電化製品は皆日本製なのかと驚かれていました。

また、ベリー夫人に誘われ教会の礼拝に参加しました。ゴスペルを歌い、牧師の話を聞きました。聖書の内容を知らず困っている私に、牧師やベリー夫人が色々教えてくれました。そこから互いの文化・宗教にも話が及びました。日本では、神様はそれぞれの物質に宿ると昔から考えられていることを私は上手く伝えられず、少し困惑させてしまったことが残念でした。自分の国の宗教を語るのはこれが初めてで、わかりやすく伝えるにはどうしたらよいか考える良いきっかけになったと思います。

「自分にして欲しいことは、人にもしなさい」とキリスト教の教えにはあるそうです。ベリー家族や牧師の方は私が助かり嬉しくなることをしてくれました。私は、人に対して同じことができるだろうかと考えずにいません。



ベリー一家と共に教会で